

正派同志會

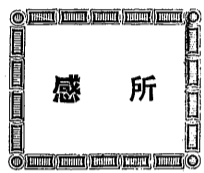
(正派同志會總會席上) 大隈伯爵演說

私が今日諸君の前に立つと、諸君は不思議に思ふかも知れぬ。元來私は繪畫の趣味には甚だ乏しい、夫故此所に招かれたのは迷惑千萬……然らば何故出たかと云ふと、今度文部省の展覽會の審査に就て大分騒動が起つて、一の反對の團體が出来たと云ふこと……私は天下に何か事あれかしと喜ぶ漢子である、我國に生活して居る以上は天下泰平國土安穩を祈るべきであるが、商賈や藝術の上に大なる競争の起るのは結構な話である……から承知したので、恰も彌次馬が火事場見物に來た様なものだ。

私の美術趣味は恰も吉野山に立つて花を觀る如く、吉野山霞の奥は知らねども見ゆる限は櫻なりけり……で、何が美しいのか何が面白いのかと問はれると、實は答に苦しむ位……床の間は大切だ、夫に私の家の床の間の軸物は年中一ツ物で濟して居るといふ位の盲目である。併しながら佛蘭西人が大に指藝を誇る日本人も指藝は極めて優れて居る、繪畫は何で出来るかと云へば指の藝……然らば指頭の藝たる繪畫は日本が世界第一かも知れない……が、是は疑問である。前席の某先生は西洋の繪畫は筆を用ひないと云ふ話をされたが、一昨年匈牙利の畫工が私の肖像を描きに來たのを見ると矢張毛筆だ。其毛は何であるかと云ふと豕の毛……日本の筆は羊の毛……夫を以て洋畫の描方は如何かといふと塗るのである。然るに此日本の毛筆畫も近來段々世界に擴つて行つてポストン邊では之を研究するものが殖え、昨年の輸出表を見ると、毛筆が二十一萬本も出て居るといふ始末である。

所で今度我國の繪畫界に改革派と固有派と云ふものが出來た。改革派といへば如何にも勢ひ好く、保守派だ頑固黨だといふと聞えが悪い様であるが、元來美術と云ふものは、前に美術家懇新會の席上で言つたやうな、保守的のものでなければならぬ。殊に況んや昨今天才の輩出しな場合合に際しては新派と云はうが舊派と云はうが、相對して其技能を磨き天才を出すのが肝腎である。夫から諸君は如何に骨を折つても之れを翫賞する人がなければ無益である、研究が幾ら積んでも食はずに生きては居られない、我々日本人の衣食住は諸君の描く所のものが日々應用されて居る。地理的的關係からして日本人の多數は歐羅巴流を應用することは出來ない、是に於て諸君は文部省の仕打が諸君を繼子扱にしたと云ふことに刺

撃され奮激して、此會を起されたは誠に結構である……が文部省獨が諸君のお客様ではない。五千萬の人々が諸君の顧客である。況んや西洋人も大分日本固有畫を解釋して來たから諸君の前途は大なる希望を以て滿されて居る。此刺撃に依つて我繪畫界は振ふであらう。振へば必ず其間に天才が生ずるに違ひない。其時には我帝室より御褒美も出やう。外國の帝室からも勳章が來る様になるに違ひないと思ふ……



所感

(正派同志會總會席上) 小山正太郎氏演說

久しく私は旅行致して居りまして、美術界の事情は何にも知らなかつたのでありますが、新聞其の他のもので折々見まして、此御會の成立したのも聞いて居ります。然しまだ餘程微々たるものであらうと實は推測して居りました。又御會の中で色々分難なすつて或は脱會なすつた人もあると言ふことも色々承つて居りますから、此御會は大したことはなからうと豫想して居りました。然る所今日罷り出まして、實際に見ますと、如何にも御盛會でありまして、殊に美術界の各派の有力なる御方々を殆んど網羅したと言つて宜い程、皆御集りになつて、其の盛なには驚いたのであります。

是までの美術界は御承知の如く彼方此方に小さい團體がありまして割據して居たといふ有様であつたのであります。此度は迄の行き掛り、感情と言ふことは皆御棄てになつて、此の如く大合同をなされたといふことは、如何にも私は御贊成を致し御同情を表した所以であります。是迄の行き掛りを棄て、斯く合同なされたといふのは萬已むを得ない御事情があらうと御察し申します。先づ第一に從來の行き掛りを棄て、合同をして、此技術に就て種々の妨害を除けて進まうと言ふ御決心は實に雙手を揚げて賛成致します。かやうに各派の有力なる御方々が御集りになりました以上は如何なる御希望でも達し得らるること存じます。團結さへ鞏固でありまして、此の如く殆んど日本の現代の美術家を網羅した此會におきましてはその希望を達せられないことは決して無い筈でありますから、皆様が益々御所信を勇邁進せられんことを切に希望致します。御同様に大敵は何所にあるかと申しますに、私は海外にあると思ひます。行く／＼はさういふ所で戦ふかと言ひますと、さうしても外國の世界の

美術競争場裡に押し出して、日本の美術の特色を發揮して、其競争場裡に勝を制さなければならぬのでありますから、何處迄も我々は其目的を以て進まなければならぬのであります。此大任を果しますには是までの如き小さな團體が個々に別れて争つて居るやうでは望みはないのであります。此此點に向ひまして大合同をなされたといふの第一に賛成致すのであります。そこで此大問題即ち世界の美術の競争場裡に押し出して、日本の特色を發揮するといふ大問題でありまして、今後此會が如何に進路をおとりになるか、宜しく今から御研究を要すること、夫に就きまして、私は局外者で御参考一二のことを申し上げ度いと思ひます。

私は他のことは知らぬのでありますが、外國……歐羅巴の技術殊に繪畫と日本の繪畫と比較見ますことに於て、僅かに經驗はあるのであります。その點に就て申し上げて見度いと思ひます。そこで此比較を致して見ますに、彼の長じて居る所は最も澤山あります。又私の長じて居る所も随分あるものであります。そこで彼にも我にも特にあるもの、彼に有つて我に無いものもありません。又我に澤山有つて彼に少しも無いものもありません。此の如く述べ來りまして澤山に有りますが、其中の一節を申し上げます、最近の畫論にもあります、筆と言ふものは外國の畫には殆ど無いと言ふて宜しい位なのであります。少しも無いので東洋の繪畫は彼に發達して居りませぬ。又夫程力も知れて居りませぬ。夫で外國の競争場裡に於て東洋畫を發揮するには第一に此の筆と言ふことを忘れてはならないと思ひます。若し此事を忘れたらば我は有利の武器を失つたと言ふことになるのであります。御差支へがあるかも知れませぬが、近頃展覽會などで拜見致しますやうな、悪る口に朦朧體と言ふて居りますやうな從來性格を外れて妙な所に行つて居る、筆を棄てて了つた畫が段々に有りませぬ。是は外國の競争場裡に押し出すに於ては餘程な損なことであらうと思ひます。夫からもう一つは私は外國に向つて戦ふには餘程不利であらうと思ふことを發見して居ります。是は嘗て美術院で話をしたことがありますが、美術學校派だとか、或は何會派であるとか、何團體の派であるとか言ふやうな、一つの流派の如き者が出來ましてはいかぬのであります。之は私が申迄も無い、皆さん萬御承知であると思ひますが、世の中で美術學校派、美術院派、何會派と申して居るやうに多勢同じやうな者が幾つにもなつて了つては、到底發達する見込は無いのであります。唯各人各違ひまして、天稟の才氣を發揮し、各々其違つた點を進ませまして、絶妙の物が出來る、多くが同じ派の様

物になつて了ひましては絶妙な域に達し得ないと言ふことは明かでありませぬ。今日外國と競争しますに、先づ日本に於ては全く別の物だと思ふ程違つて居まして他國の物に比べると同じ様に見える。夫が日本に於て何だか同じ様な團體中の人々で同じ様なものを畫いて居る者が外國に出て戦ひます時には甚だ見榮えの無いものであります。そこで此點に於て此御會の展覽會の御出品は皆さんが違つた方針で進んで行かれるのは常に私は望を囑して居ります。

外國人と戦ふに就きましてさういふ方針で行きますか、色々御参考になることもあらうと思ひますが、時間の都合で、茲に私は單に是丈有力の方が御集りになれば如何なる事でも御希望は達し得らる、何處迄も團結して猛進なさらんことを希望します。

夫に就て一言申して見度いのは、此間御會の會員の或る方に御目に掛つた時、其の方の話に維新前には各藩の間に能く事が起つて、奸臣が君側に於て賢明を蔽ふといふことがあつて、到頭君側の奸を除いて正義を唱へるといふ騒動が何處の藩にもある、自分達はさういふ場合に際して居るから何處迄も君側の奸を除いて正義を斷行する積りであると、かういふ話を承りましたのであります。そこで其言は甚だ奇矯に失する嫌ひはあるが其心掛けは大變結構であると思ひました。文部省の大臣を始め當局の方々も決して不公平な事を望んで居らる譯は無い、又偏頗なことをなさらうといふ御考は無いことは明であります。夫でありますから御處置の上にて幾分の割の悪いと言ふことがあらうと言つて、夫に依て直に當局者を飽迄も相手として争ふと言ふ様なことは御會の爲に不利益では無からうかと思ひます。

又もう一つ同じ様なことですが、今度文部省の展覽會の主任中澤博士は日本畫職論者だと言ふに言振らして居るやうで、夫が爲此御會の方々も非常に憤慨されて居る様に承つて居りますが、之はさういふ人がさう言ふことを吹聴したか知れませぬが、中澤博士は兎に角日本畫を獎勵しやうといふ目的で成立してゐる展覽會の主任を御受けになつて居るのであります。之によつても日本畫を全滅しやうといふ暴論者で無いと言ふことは明かでありませぬ。さういふことを吹聴するものがあるからとて、之れをも敵視して戦ふと言ふのは少し早計に失する様に私は思ひます。是丈の有力の方が正義を唱へ進めば如何な事でも行はれぬことは無いと思ひますから、今後は極慎重に御考慮なされて唯技術の前途に横はる妨礙を取除いて飽迄も會の趣旨を貫徹して進行なさることを希望致します。